

コンクリート板を用いたアワビ放流漁場づくり

回収率を高めるためのアワビ放流漁場造成マニュアル

アワビ放流漁場造成 マニュアル

～コンクリート板を用いた新しいアワビ放流漁場づくり～



平成29年3月
三重県水産研究所

- アワビ種苗は放流後の減耗が大きく、また、成長した後も漁場では取り残しがあるので **生き残りが良く、漁獲しやすい漁場へ放流**することで、回収率を高めることができます。
- このため、海女さんが漁獲しやすく、アワビ種苗の生き残りが良いコンクリート板を用いた、新しいアワビ放流漁場づくりを実践するために活用いただく手引きとして、『**アワビ放流漁場造成マニュアル**』を作成しました。
- このマニュアルには、コンクリート板の紹介、漁場造成の適地、放流の方法、また、アワビ類の漁獲に際しての注意点など **放流効果を高めるための方法**を記載しました。
- H29年度の操業試験では回収率が10%以上の事例もあり、コンクリート板漁場造成による効果が実証されています。

【内容の紹介(一部)】

●使用するコンクリート板



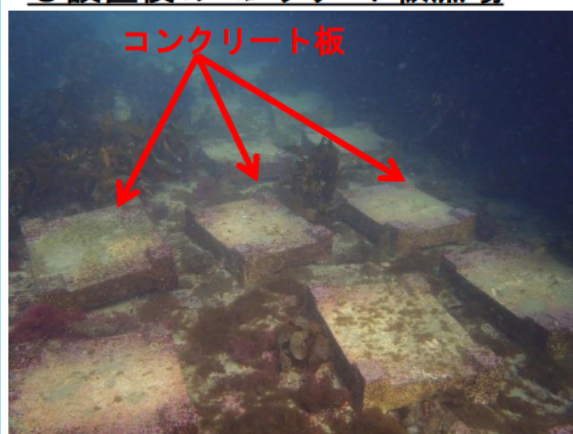
・アワビ種苗が生息するための「隙間」が設けてあります。

コンクリート板は、アワビ類の生息に適し、板上に餌となる海藻が繁茂することができる形状で、漁獲時には板の反転が容易な大きさです。

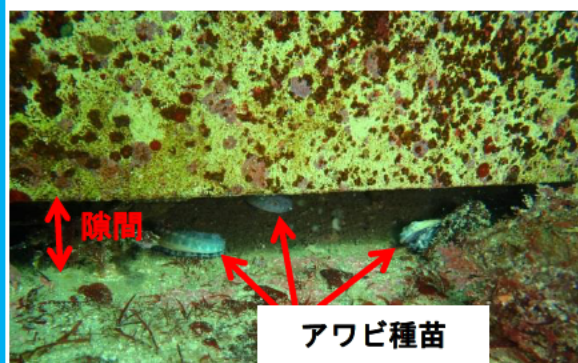
造成する漁場の周辺に海藻が繁茂し、板が砂などに埋没しない安定した海底に板を設置することで、アワビ類が放流から漁獲まで生息できる基質となります。

当漁場造成技術を、アワビ類の放流効果を高めるための新たな漁場づくりに活用してください。

●設置後のコンクリート板漁場



コンクリート板（上）と板と海底の隙間に潜り込むアワビ種苗（下）



三重県水産研究所 沿岸資源増殖研究課

Mie Prefecture Fisheries Research Institute

〒517-0404 志摩市浜島町浜島3564-3

TEL (0599)53-0016

FAX(0599)53-2225

(2017年3月発行、2019年3月一部改訂)